

市民の笑顔をおとどけします

8/3~7

第13回現代茶陶展の受賞作品がずらり



8月3日(月)から5日間、市役所1階多目的スペースで「令和の茶陶―第13回現代茶陶展受賞作品展―」が開催されました。
第13回現代茶陶展の展示会および授賞式が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったことを受けて、規模を縮小し、感染対策にも注意しながら開催。訪れた方の目を楽しませました。



1. 市役所庁舎1階「多目的スペース」で開かれた展示会
2. TOKI織部大賞をはじめ、受賞作品が展示されました

8/1

幻の市民歌を初披露



連続テレビ小説「エール」で主人公のモデルとなつた作曲家古関裕而氏が作曲したものの、未発表となつていた土岐市民歌を土岐青少年合唱団が初めて披露しました。
この市民歌は、昭和45年に土岐青年会議所(JC)が設立5周年記念事業として作られるも、結果的に公に披露されることはありませんでした。三年前に市内在住の女性が旅行で福島県

の古関裕而記念館を訪れた際、たまたま「土岐市民歌」の楽譜を発見。市教育委員会が調査して経緯が明らかになりました。
この日は市文化プラザで同合唱団の団員約30人が、JC幹部はじめ関係者ら約30人に向けて幻の市民歌を美しい歌声で披露しました。合唱団員は、「50年眠り続けていた歌を歌わせてもらえて光栄」と笑顔を見せました。



1. 指揮と伴奏に合わせて爽やかな歌声を披露する団員
2. 感染対策としてマウスシールドを着用

7/31

市役所ってどんなところ？

濃南小学校3年生16人が社会科で市内公共施設について学習するために市役所庁舎を訪れ、市職員から説明を受けながら各階を見学しました。
児童らは、上下水道、道路管理、学校管理、災害対応など市役所が関わる身近な事柄についてあらかじめ学校で調べ学習をしたとのこと。市役所にはどんな部署があつて、どんな人がどのように働いているのか疑問をもつて庁舎を



見学しました。市の職員から市民サービスに関わるあらゆる仕事を各部課で分担していることを聞いたり、議場や市長室も見学したりした児童は、「みんなが安心して暮らせるために市役所があると分かった」と話してくれました。
また児童らは、市役所を見学した後に、給食センターと図書館も訪問。一日かけて市の仕事を学びました。



1. 市長室で、市長のいすに座らせてもらう児童。将来は市長かも!?
2. 庁舎1階で職員から説明を受ける児童

8/11

桑原萌夏さん、県知事賞を市長報告

8月3日(月)、美濃市で開催された第42回少年の主張岐阜県大会で東濃地区の代表として出場した土岐津中学校3年生桑原萌夏さんが、岐阜県知事賞を受賞。この日、市役所を訪れ、市長に受賞の喜びと県代表として進む中部・近畿ブロック選考会への意気込みを語りました。
桑原さんは、6月に開かれた市大会で「希望の架け橋を架けよう」というタイトルで発表。介護問題をテーマにA



1. 賞状と盾を手記念撮影
2. 県知事賞受賞の喜びを語る桑原さん

IやIT技術に触れている自分たち世代が、介護の当事者の支えになることを主張し、東濃審査会でも好成績を残し、県大会へ進むことが決まりました。県大会では、同様の内容で身振り手振りや抑揚、間の取り方にさらに磨きをかけて渾身の主張を披露。見事県知事賞に輝きました。「緊張したけど、おばあちゃんの顔を頭に思い浮かべて思いきり主張しました」と笑顔で市長に報告しました。